

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全 <input type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	ラバーコーン	担当部署	営業部技術営業課
NETIS登録番号	—	担当者	竹下、原
社名等	西日本高速道路エンジニアリング中国（株）	電話番号	082-532-1436
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>ゴム本体はまだしっかりとした形状を保っているのに、「表面の色褪せ」や「反射機能が劣化した」ラバーコーンのクロスカバーを張り替えることで、新品同様の「反射性能」及び「視認性」を回復します。継続的な張り替え補修によりランニングコストの低減が可能であり、新品同様の状態でラバーコーンの使用継続が可能となります。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>①コーン筒部表面に反射クロスを採用。                  ②必要に応じた配色で、模様及びネーム等を印刷することが可能なため、様々な用途に対応。                  ③コーン本体には、天然ゴム及び合成ゴムを配合した材料を使用し、過酷な環境下（厳冬期等）でも破損し難く、高い耐久性と耐候性を実現。                  ④頭部キャッチゴムの採用により、設置・撤去作業時の負担軽減や、作業効率の向上になる。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>①高品質の再帰性反射材を使用することにより、鮮明な色彩と高い光沢性で夜間でも高い視認性・安全性を確保。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>交通規制時の規制材として活用、またカバーデザイン変更による各種イベント案内表示に適用。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0本（九州 0本、九州以外 0本）                  自治体 0本（九州 0本、九州以外 0本）                  民間 13,357本（九州 2,598本、九州以外 10,759本）</p>		

6. 写真・図・表

【オートラバーコーンTF型】

【ブライトコーンカバー】



【グリップゴム】



【ラバーコーン黄/黒高速道路タイプ】



【さまざまなカバーの種類】

